

令和5年 第5回 伊丹市議会 定例会

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第 5 号
受 理 年 月 日	令和5年12月1日
件 名	伊丹市独自に、教職員未配置解消の具体的な措置を講じることを求める請願書
請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市 子どもと教育を守る伊丹連絡会 藤木 貴子 外 1, 993人
請 願 の 要 旨	別 紙
紹 介 議 員 名	日本共産党伊丹市議会議員団 服部 好廣
付 託 委 員 会 名	文教福祉常任委員会

令和5年12月1日

伊丹市議会議長

戸 田 龍 起 様

請 願 者

住 所 神戸市

氏 名 子どもと教育を守る伊丹連絡会

藤木 貴子

外 1, 9 9 3 人

紹 介 議 員 日本共産党伊丹市議会議員団 服部 好廣

伊丹市独自に、教職員未配置解消の具体的な措置を講じることを求める請願書

請願趣旨

新型コロナウイルス感染症、自然災害、戦争といった危機的状況が多発し、急激なIT化に対応できる力を身につけることが急がれる社会情勢の中で、一人一人の子どもの真の生きる力を育むことは、最重要かつ喫緊の課題です。子どもたちを支援する教職員を増員し、教師の多忙化解消による、ゆきとどいた教育を実現することは、私たちみんなの願いです。

しかし、現在、学校現場では、教職員の未配置が深刻な状況を呈しています。県内で200人を超え、伊丹市でも相当数の教職員が配置されず、教科の専門的な授業等が行えない学校が少なくありません。中には、半年以上担任が不在になった学校もあります。伊丹市でも様々な取り組みが進められていますが、抜本的な改善のためには、予算をつけてきちんと人手を確保し、伊丹市の教職員の長時間過密労働を解消することが必要です。県、国の措置を待つのではなく、伊丹市独自で教育に関する予算を増額し、伊丹の教育条件をさらに整えて、「子育てには伊丹」を一刻も早く実現するよう請願します。

請願事項

1. 不登校対策、通級指導等、市独自の加配教員を各校1名つけてください。
2. 子どもたちを支援する教職員を増員してください。
3. 教職員の多忙化解消と待遇改善で、やりがいをもって伊丹で教職員を続けられるようにしてください。
 - (1) 伊丹市独自の35人学級を早期に実現してください。
 - (2) 会計業務も委託してください。(諸費の会計業務も教員がしています)
 - (3) 介助員の増員、スクールカウンセラーの常駐、清掃員・警備員の派遣など、学校を支える教職員を配置してください。
 - (4) 勤務時間の正確な把握をしてください。